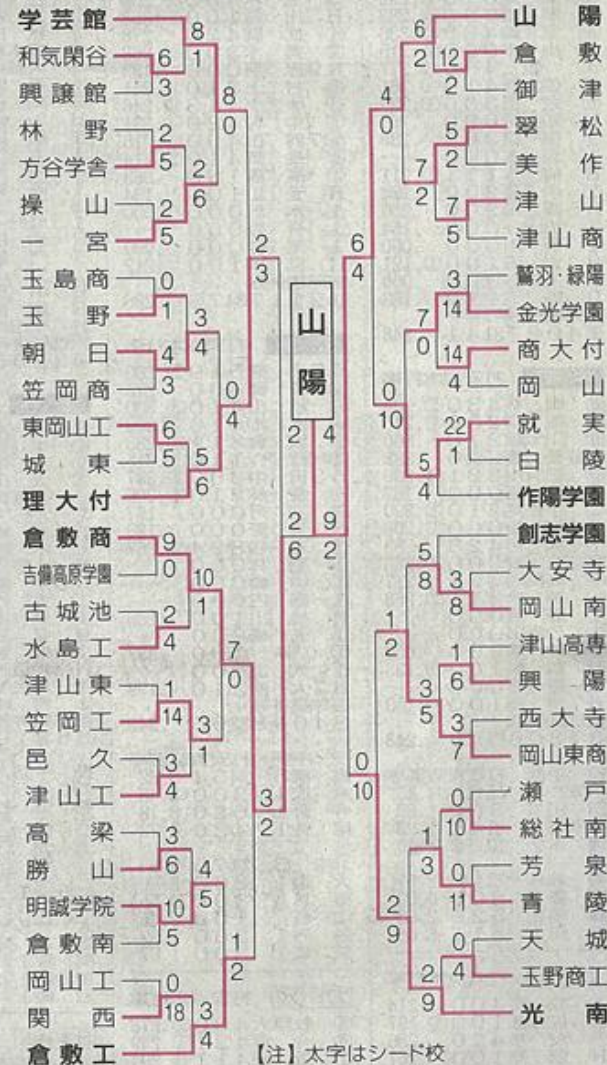


◆熱戦の跡

高校野球岡山大会 振り返って

第105回全国高校野球選手権記念岡山大会は25日、山陽が57チームの頂点に立ち幕を閉じた。声出し応援が4年ぶりに解禁され、スタンドの熱気が盛り上げた大会を振り返る。(稲垣心也)

熱戦の跡



山陽 投手力で頂点

山陽は1試合平均の得失点差が3・8。接戦を140回、右腕「カルテット」による継投でくり抜けた。2年生2人の成長が大きい。三宅は公式戦初登板初先発となった3回戦で6回無四球無失点と快投し、準決勝も6回を自責点0。三浦は決勝の先発を含め3試合計12回で防御率1・50を残した。実績のある井川、西野の両3年生が備えるアルペンが心強かった。

コールド勝ちが準決勝の1試合と打線は爆発力こそ欠いたが、チーム打率は3割4分。1番田内が11安打と役割を果たした。中心打者の渡辺は打率1割台で迎えた最終日に決

歴代2位 大会24本塁打



6年ぶり2度目の優勝を決め、堤尚彦監督を胸上げる山陽ナイン=25日、倉敷マスカット

の打力が目を引いた。華やかなアーチが大会を彩った。大会の総本塁打数24は2006年の32に次ぐ歴代2位タイ。就実は山陽との準々決勝で、岡山東商の坂手と金光学園の増田が2試合連続で山陽を追い詰めた。2回戦で山陽を追い詰めた倉敷の本格派右腕坂本らも1回戦で3本塁打をマークし、岡山東商の坂手と金光学園の増田が2試合連続で山陽を追い詰めた。2回戦で山陽を追い詰めた倉敷の本格派右腕坂本らも1回戦で3本塁打をマークし、岡山東商の坂手と金光学園の増田が2試合連続で山陽を追い詰めた。

決勝で頓宮が2本のソロを放つなど、1試合のチーム最多本塁打記録タイの3発で王者に肉薄した。明誠学

好投手も多かった。倉敷工の右横手片山の投球術は秀逸だ。玉野の清水は17イニング連続無失点。青陵は左腕宮田が8年ぶりの16強に導いた。

前回覇者の創志学園を撃破した岡山南など古豪の意地。2試合連続で終盤に逆転した朝日をはじめとした公立普通科校の粘りも印象に残る。延長10回に前倒しされたタイブレークは、2回戦1試合のみの採用だった。

林野の主将が部員減少の危機を宣言で訴え、幕を開けた大会。鷺羽・緑陽の連合を含め、19チームがベンチ入り20人を満たさない編成で戦った。選手10人で勝利目前に迫った倉敷南の健闘は光った半面、高校野球の今後を考えさせられた。

◆決勝

山陽 雪辱ドラマ結実

白球譜

倉敷商 佐々岡藍翔右翼手

鍛錬信じて臨んだ夏

2年越しの思いを乗せた打球が中前で弾む。同点に追い付かれた直後の六回二死二塁。1ストライクからの2球目を仕留めた勝越し打は「狙っていたわけじゃない。チームを引っ張ろうと気持ちで運んだ」。外の変化球を逆らわずに巧みにはじき返し、ほとぼる感情が大きなガッツポーズとなってあふれ出した。

伝統校の主将は誰よりもこの舞台上に立てきた。2点を追う九回二死一塁で代打に立ち、見逃し三振に倒れた。脳裏に深く刻まれているのは、最後の打者となった昨夏の創志学園との決勝。自信のなさで打席に出た。もう同じ思いはない。「当時の映像を何度も見直し、冬場はひたすらにバットを振り込んだ。自らを信じられるだけの鍛錬を積み、頂点のみを追い求めた最後の夏。結果はしかし、2年連続の準優勝に終わり、去



年の悔しさを晴らしたかった。情けない一言。口を真一文字に結んだまま、崩れ落ちた仲間を促して整列に向かい、最後まで主将としての振る舞いを貫き通した。

岡山南の遊撃手だった父康博さん(49)の影響で、小学2年から野球に打ち込んできた。藍翔の名は生まれる直前の2008年3月、初開催されたワールド・ベイスボール・クラシックで王者に輝いた侍ジャパンのユニホームに採用された勝越し打に由来する。

大会前までは卒業後の進路に悩んでいたというが、決勝を戦い終えて心は固まった。「野球を続けていれば、また山陽のメンバーと再戦する機会もあると思う。絶対にやり返す」。勝ちどきを上げるその日まで、再び味わった屈辱を糧にする。(松原悠)

▽決勝
倉敷商010000100002
山陽000011200×4

▽二塁打 山崎、渡辺

【評】山陽が2度の劣勢をはね返し、6年ぶりの頂点に立った。0-1の五回は2死から中前打で出た西野を山崎が内外野の間に落とす二塁打で迎え入れ、再び1点を追う六回一死一、二塁は入江が左前に同点打。七回二死から田内、湯浅の連打で一、二塁とし、渡辺が前進守備

の右中間を破る決勝の2点二塁打を放った。投げては三浦、西野が3回ずつを1失点でつなぎ、井川が3回1安打無失点と締めた。

倉敷商は先発和田が不運な当たりからリズムを崩し、救援の左腕増田は1球に泣いた。二回に押し出し、六回に佐々岡藍の適時打でリードを奪った打線がもう一押ししなかった。

(稲垣心也)

倉敷商	1000000001002	山陽	000011200×4
安打	20	安打	10
打点	20	打点	11
得点	5	得点	4
本塁打	4	本塁打	4
犠打	4	犠打	4
犠飛	4	犠飛	2
盗塁	4	盗塁	0
失点	4	失点	3
失誤	1	失誤	1
三振	1	三振	1
四球	1	四球	1
暴投	1	暴投	1
投手	和田	投手	三浦
捕手	田中	捕手	西野
一塁	山崎	一塁	山崎
二塁	山崎	二塁	山崎
三塁	山崎	三塁	山崎
外野	山崎	外野	山崎
ベンチ	山崎	ベンチ	山崎
審判	山崎	審判	山崎
観客	山崎	観客	山崎
試合時間	山崎	試合時間	山崎
天気	山崎	天気	山崎
気温	山崎	気温	山崎
湿度	山崎	湿度	山崎
風速	山崎	風速	山崎
風向	山崎	風向	山崎
照明	山崎	照明	山崎
音響	山崎	音響	山崎
スコア	山崎	スコア	山崎
記録	山崎	記録	山崎
表彰	山崎	表彰	山崎
挨拶	山崎	挨拶	山崎
退場	山崎	退場	山崎
試合終了	山崎	試合終了	山崎

倉敷商終盤逆転負け 継投悔やむ監督



敗戦後、ベンチ前に整列し、うつむく倉敷商ナイン

「あそこをゼロに抑えられなかったのが痛い。もっと早く継投していたら違ったであろうか...」。

倉敷商の梶山監督が悔やむのは、主将佐々岡藍の適時打で1点を勝ち越した後の六回の守りだ。

先発和田が安打と四球で招いた一死一、二塁。「もう少し引っ張れる」と指揮官が続投を決断した直後に同点打を浴びた。救援の左腕増田は続投のピンチをしのいだものの、七回に3連続長短打を許して2点を献上。今大会4試合目で初失点の増田は「決勝打は」自信を持って投げたカーブをしぶとく返された。

昨夏は創志学園に決勝では31年ぶりとなる完封負け。屈辱を胸にチームは夏のファイナルで勝つために鍛錬を重ねてきた。この日2安打の三宅は七回二死一塁で中前への当たりを好捕され、もっと打撃で貢献し、みんなを甲子園に連れて行きたかった」とおえつが止まらなかった。

和田と増田の二枚看板、打線の中軸を担う広野、山下はいずれも2年生。決勝で散った先輩たちの思いも引き継ぎ、積み重ねた悔しさを晴らすチャンスは残されていない。(杉本明信)

◆準決勝

あす決勝

倉敷商戦力が融合



【理大付・倉敷商】9回表2死二塁、三宅の内野安打に敵失が絡み、6-2と突き放す。捕手桜木・倉敷マスカット（中西弘之撮影）

倉敷商	打安点
① 佐々岡藍	5 10 1
② 藤本	5 5 3
③ 山下	4 0 0
④ 波野	4 0 0
⑤ 波野	4 0 0
⑥ 波野	4 0 0
⑦ 波野	4 0 0
⑧ 波野	4 0 0
⑨ 波野	4 0 0
計	36 13 5

理大付	打安点
① 藤本	4 2 1
② 藤本	4 1 0
③ 藤本	4 2 0
④ 藤本	4 2 0
⑤ 藤本	4 1 1
⑥ 藤本	4 2 0
⑦ 藤本	4 0 0
⑧ 藤本	4 0 0
⑨ 藤本	4 0 0
計	33 9 2

倉7	2	4	0	1	9	1
理6	1	2	0	1	7	0

炎天の季節に倉敷商は輝く。「相手の執念を選手たちが押し返してくれた」と梶山監督。粘る理大付に主導権を譲ることなく、夏は2020年の代替大会を含め、実に5年連続となるファイナルの切符をつかんだ。

二回、甘んじた変化球を捉え、先制打とした吉森は、歴代の先輩たちも積極的な野球で結果を残してきた。ストライクは全部いく意識でやっている。自信を胸にバットを振る7番打者は、今大会のチーム最多打点を6に伸ばした。

相手の執念を押し返す

適時打でいずれもホームを踏んだのは、旧チームから主力の5番三宅。堅守が持ち味のショートストップは打力のある2年松岡との併用でこの夏をスタートしたが、2回戦で本塁打を放つなど結果を出してスタメンの座を取り戻し、この日は4安打を固め打った。

昨夏の最終日は創志学園に0-2。岡山大会決勝の完封は31年ぶりだった。ベンチ外だった吉森はボールボーイを務め、津本は体調不良で欠場した先輩の代わりにマスクをかぶった。満塁の好機に凡退した三宅は「1年間、決勝で打つためにバットを振ってきた」。伝統校で腕を磨いた新旧の戦力が融合し、雪辱の舞台に立つ。

（稲垣心也）

▽準決勝
倉敷商0102000003 26
理大付00000011003 2
▽暴投 和田

【評】倉敷商は二回1
飛で2点を加えた。13安

死一、三塁で吉森が中前に先制打。四回は津本の右前適時打など4安打を集め、タメ押し。3戦連続となる和田-左腕増田の継投で逃げ切った。

理大付は鷹取の適時打などで反撃に出たが、粘投の左腕高橋が九回に力尽きた。（稲垣心也）

◆準々決勝

4強進出

倉敷商 粘り強く

「倉敷商―倉敷工」9回裏倉敷商1死二塁、左越えにサヨナラ打を放った増田（右）を迎える倉敷商ナイン



倉敷工	打安点
⑧坂原	3200
⑦R7	0000
⑤三石	4110
③頼	4211
④堀藤	3010
②花桐	4000
①片山	4000
②高谷	3000
	2000
計	3152

倉敷商	打安点
⑨佐々	3000
	1000
④藤本	4300
⑤野下	2002
③山下	2212
⑥三宅	3000
⑦岩谷	3000
⑧吉森	3000
H小	1100
R難	0100
②津	2000
①和	3000
1増	1111
計	2563

工	8310160
振球	10160
盗	4650281
失	0281
残	1

救援左腕 サヨナラ打の大仕事

17年ぶりの「倉敷対決」にふさわしい劇的な決着だった。同点の九回裏1死二塁、サヨナラ的好機に増田は「ストライクは全部強振するつもりだった。打った瞬間、決まったと確信した」。初球を捉えた打球は左翼手のはるか頭上を越えていった。「打」のヒーローは本職でも大仕事をやってのけた。1―2の八回1死二、三塁のピンチで登板し、中軸を三振、中飛に。昨夏から体重を10kg増やしたことで直球も10kgアップし「打たれる気がしなかった」と話す最速141km/h左腕に、梶山監督は「相手をねじ伏せ、流れを呼び込んでくれた」とたたえ

た。昨秋の県大会は、勝てば中国大会が決まる準決勝と3点決定戦で失策から崩れた。この日も六回にエラー絡みで先制されたが、「あそこで大量失点しなかったのが一番成長したところ」と指揮官。失策を犯した遊撃三宅は「勝てば問題ないと切り替えた」。八回1死満塁で一塁へ決死のヘッドスライディングで併殺を免れた。同点となる1点をもぎ取った。

ライバルを撃破しても「自分たちの目標はもっと上にある」と増田。夏に無類の強さを誇る倉敷商にとって5大会連続4強は通過点に過ぎない。（山根上貴）

倉敷工000000260002
倉敷商0000001010132
▽二塁打 三宅（商） 増田▽暴投 梶山

【評】倉敷商がサヨナラ勝ち。2―2の九回1死二塁で、救援左腕の増田が自ら左越え二塁打を放ち熱戦に終止符を打った。失策絡みで先手を取られたが、八回に三宅の併殺

崩れて追い付くなど粘り強く反撃した。倉敷工は、頼の適時内野安打と堀内のスクイズで2点を先制した直後の六回的好機と八回1死二、三塁を逸したのが悔やまれる。（山根上貴）

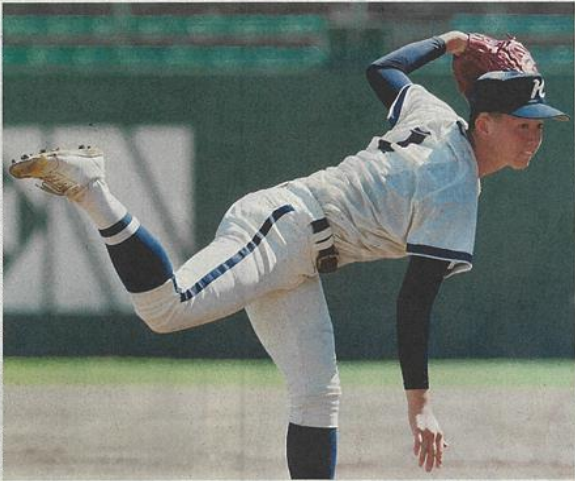
◆三回戦

打点	安打	工	岡	笠
400	4	保村	久三	④
210	1	尾井	瀬竹	⑥
300	3	森健	①	②
300	1	光	⑤	⑦
320	3	林	①	⑧
100	1	田水	⑦	⑧
100	1	計	⑧	
2750	9	計		

打点	安打	商	倉
410	4	藤山	④
111	2	本野	⑤
111	2	波岡	③
200	3	波岡	⑥
100	1	波岡	⑦
100	1	波岡	⑧
100	1	波岡	⑨
100	1	波岡	⑩
100	1	波岡	⑪
100	1	波岡	⑫
100	1	波岡	⑬
100	1	波岡	⑭
100	1	波岡	⑮
100	1	波岡	⑯
100	1	波岡	⑰
100	1	波岡	⑱
100	1	波岡	⑲
100	1	波岡	⑳
100	1	波岡	㉑
100	1	波岡	㉒
100	1	波岡	㉓
100	1	波岡	㉔
100	1	波岡	㉕
100	1	波岡	㉖
100	1	波岡	㉗
100	1	波岡	㉘
100	1	波岡	㉙
100	1	波岡	㉚
100	1	波岡	㉛
100	1	波岡	㉜
100	1	波岡	㉝
100	1	波岡	㉞
100	1	波岡	㉟
100	1	波岡	㊱
100	1	波岡	㊲
100	1	波岡	㊳
100	1	波岡	㊴
100	1	波岡	㊵
100	1	波岡	㊶
100	1	波岡	㊷
100	1	波岡	㊸
100	1	波岡	㊹
100	1	波岡	㊺
100	1	波岡	㊻
100	1	波岡	㊼
100	1	波岡	㊽
100	1	波岡	㊾
100	1	波岡	㊿
100	1	波岡	0
100	1	波岡	1
100	1	波岡	2
100	1	波岡	3
100	1	波岡	4
100	1	波岡	5
100	1	波岡	6
100	1	波岡	7
100	1	波岡	8
100	1	波岡	9
100	1	波岡	10
100	1	波岡	11
100	1	波岡	12
100	1	波岡	13
100	1	波岡	14
100	1	波岡	15
100	1	波岡	16
100	1	波岡	17
100	1	波岡	18
100	1	波岡	19
100	1	波岡	20
100	1	波岡	21
100	1	波岡	22
100	1	波岡	23
100	1	波岡	24
100	1	波岡	25
100	1	波岡	26
100	1	波岡	27
100	1	波岡	28
100	1	波岡	29
100	1	波岡	30
100	1	波岡	31
100	1	波岡	32
100	1	波岡	33
100	1	波岡	34
100	1	波岡	35
100	1	波岡	36
100	1	波岡	37
100	1	波岡	38
100	1	波岡	39
100	1	波岡	40
100	1	波岡	41
100	1	波岡	42
100	1	波岡	43
100	1	波岡	44
100	1	波岡	45
100	1	波岡	46
100	1	波岡	47
100	1	波岡	48
100	1	波岡	49
100	1	波岡	50
100	1	波岡	51
100	1	波岡	52
100	1	波岡	53
100	1	波岡	54
100	1	波岡	55
100	1	波岡	56
100	1	波岡	57
100	1	波岡	58
100	1	波岡	59
100	1	波岡	60
100	1	波岡	61
100	1	波岡	62
100	1	波岡	63
100	1	波岡	64
100	1	波岡	65
100	1	波岡	66
100	1	波岡	67
100	1	波岡	68
100	1	波岡	69
100	1	波岡	70
100	1	波岡	71
100	1	波岡	72
100	1	波岡	73
100	1	波岡	74
100	1	波岡	75
100	1	波岡	76
100	1	波岡	77
100	1	波岡	78
100	1	波岡	79
100	1	波岡	80
100	1	波岡	81
100	1	波岡	82
100	1	波岡	83
100	1	波岡	84
100	1	波岡	85
100	1	波岡	86
100	1	波岡	87
100	1	波岡	88
100	1	波岡	89
100	1	波岡	90
100	1	波岡	91
100	1	波岡	92
100	1	波岡	93
100	1	波岡	94
100	1	波岡	95
100	1	波岡	96
100	1	波岡	97
100	1	波岡	98
100	1	波岡	99
100	1	波岡	100

笠	9	10	22	70
振球	0	5	2	0
盗	0	5	2	0
失	0	5	2	0
残	0	5	2	0
併	0	5	2	0
計	0	5	2	0

倉敷商 盤石リレー



笠岡工戦で先発し、5回3安打無失点に抑えた倉敷商の和田。倉敷マスコット(中継樹撮影)

一、二塁で津本が左翼フエンスを直撃する先制二塁打。五回は藤本の左越えノック、吉森の中越え3点。二塁打などで、巻5点が万全ではなかった。打線を専ら単打に終った(稲垣心也)

◆二回戦

倉敷商03001210003 110
水島工10000000000 110

▽二塁打 三宅
▽二塁打 広野、高本、津本

【評】倉敷商が先発全員の14安打で快勝した。二回は先頭三宅の左翼ポール直撃の本塁打で追いつき、さらに2点を勝ち

越し。中盤に4点を加えると、九回は津本の2点二塁打などでダメージを押し。水島工は一回に高橋生の中犠飛で先制したが、4失策が痛かった。(松原悠)

倉敷商 14安打で快勝

打点	安打	商	倉
110	11	藤山	④
110	11	本野	⑤
110	11	波岡	③
110	11	波岡	⑥
110	11	波岡	⑦
110	11	波岡	⑧
110	11	波岡	⑨
110	11	波岡	⑩
110	11	波岡	⑪
110	11	波岡	⑫
110	11	波岡	⑬
110	11	波岡	⑭
110	11	波岡	⑮
110	11	波岡	⑯
110	11	波岡	⑰
110	11	波岡	⑱
110	11	波岡	⑲
110	11	波岡	⑳
110	11	波岡	㉑
110	11	波岡	㉒
110	11	波岡	㉓
110	11	波岡	㉔
110	11	波岡	㉕
110	11	波岡	㉖
110	11	波岡	㉗
110	11	波岡	㉘
110	11	波岡	㉙
110	11	波岡	㉚
110	11	波岡	㉛
110	11	波岡	㉜
110	11	波岡	㉝
110	11	波岡	㉞
110	11	波岡	㉟
110	11	波岡	㊱
110	11	波岡	㊲
110	11	波岡	㊳
110	11	波岡	㊴
110	11	波岡	㊵
110	11	波岡	㊶
110	11	波岡	㊷
110	11	波岡	㊸
110	11	波岡	㊹
110	11	波岡	㊺
110	11	波岡	㊻
110	11	波岡	㊼
110	11	波岡	㊽
110	11	波岡	㊾
110	11	波岡	㊿
110	11	波岡	0
110	11	波岡	1
110	11	波岡	2
110	11	波岡	3
110	11	波岡	4
110	11	波岡	5
110	11	波岡	6
110	11	波岡	7
110	11	波岡	8
110	11	波岡	9
110	11	波岡	10
110	11	波岡	11
110	11	波岡	12
110	11	波岡	13
110	11	波岡	14
110	11	波岡	15
110	11	波岡	16
110	11	波岡	17
110	11	波岡	18
110	11	波岡	19
110	11	波岡	20
110	11	波岡	21
110	11	波岡	22
110	11	波岡	23
110	11	波岡	24
110	11	波岡	25
110	11	波岡	26
110	11	波岡	27
110	11	波岡	28
110	11	波岡	29
110	11	波岡	30
110	11	波岡	31
110	11	波岡	32
110	11	波岡	33
110	11	波岡	34
110	11	波岡	35
110	11	波岡	36
110	11	波岡	37
110	11	波岡	38
110	11	波岡	39
110	11	波岡	40
110	11	波岡	41
110	11	波岡	42
110	11	波岡	43
110	11	波岡	44
110	11	波岡	45
110	11	波岡	46
110	11	波岡	47
110	11	波岡	48
110	11	波岡	49
110	11	波岡	50
110	11	波岡	51
110	11	波岡	52
110	11	波岡	53
110	11	波岡	54
110	11	波岡	55
110	11	波岡	56
110	11	波岡	57
110	11	波岡	58
110	11	波岡	59
110	11	波岡	60
110	11	波岡	61
110	11	波岡	62
110	11	波岡	63
110	11	波岡	64
110	11	波岡	65
110	11	波岡	66
110	11	波岡	67
110	11	波岡	68
110	11	波岡	69
110	11	波岡	70
110	11	波岡	71
110	11	波岡	72
110	11	波岡	73
110	11	波岡	74
110	11	波岡	75
110	11	波岡	76
110	11	波岡	77
110	11	波岡	78
110	11	波岡	79
110	11	波岡	80
110	11	波岡	81
110	11	波岡	82
110	11	波岡	83
110	11	波岡	84
110	11	波岡	85
110	11	波岡	86
110	11	波岡	87
110	11	波岡	88
110	11	波岡	89
110	11	波岡	90
110	11	波岡	91
110	11	波岡	92
110	11	波岡	93
110	11	波岡	94
110	11	波岡	95
110	11	波岡	96
110	11	波岡	97
110	11	波岡	98
110	11	波岡	99
110	11	波岡	100

◆一回戦

倉敷商05010000109
吉備高原学園00000000109

▽二塁打 山下、小池広野
捕逸 鍋田2、捕逸 清原

【評】倉敷商は広野、山下、岩谷の中軸が一回に3連続適時打を放つなど計9安打6打点と力を見せつけた。2回ずつを完全に抑えた高本、長谷川ら投手陣も限なし。吉備高原学園は力及ばずも奮闘。五回に左翼線二塁打を放った鍋田は、救援のマウンドでも強気の投球が印象的だった。(稲垣心也)

中軸担つ2年 打線けん引
倉敷商打線が13安打9得点と好調な滑り出しを見せた。4打数4安打でけん引したのは広野。写真も3安打をマークし、七

倉敷商 13安打9点

打点	安打	商	倉
510	5	藤山	④
410	4	本野	⑤
442	4	波岡	③
432	4	波岡	⑥
100	1	波岡	⑦
200	2	波岡	⑧
300	3	波岡	⑨
000	0	波岡	⑩
000	0	波岡	⑪
000	0	波岡	⑫
000	0	波岡	⑬
000	0	波岡	⑭
000	0	波岡	⑮
000	0	波岡	⑯
000			

◆大会前記事

来月8日開幕

第105回全国高校野球選手権記念岡山大会（7月8日開幕）の組み合わせ抽選会が24日、岡山市の環太平洋大であり、出場57チーム58校の対戦カードが別表の通り決まった。25日までの18日間、倉敷マスカットスタジアムなど3球場を舞台に甲子園出場を懸けた熱戦が繰り広げられる。

各チームから主将と部長、監督が出席。県高野連の藤原修会長が「正々堂々とした戦いを望みます。リスベクトし合う素晴らしい大会にしましょう」とあいさつした。

春の県大会4強のAシード（学芸館、光南、山陽、倉敷工）、8強のBシード（作陽学園、倉敷商、理大付、創志学園）、残り49チームの順に主将がくじを引き、番号とチーム名を読み上げた。

春優勝の学芸館は、開幕試合（8日）の和気閑谷・興譲館、連覇を目指す創志学園は大安寺・岡山南の勝者とそれぞれ初戦の2回戦で当たる。開会式は8日午前10時から同スタジアムで全チームが参加して行われ、選手宣誓は林野の大寺陽羽主将（3年）に決まった。

休養日は準決勝、決勝の前日を含む4日間。今大会からタイブレークの開始イニングは従来の延長十三回から十回になるほか、新型コロナウイルス禍で自粛してきたスタンドの声出し応援が4年ぶりに解禁される。

抽選会に先立ち、日本高野連の都道府県功労者に選ばれた松本一雅・元県高野連事務局長への表彰伝達式が行われた。（稲垣心也）

展望

今春、昨秋の県大会でそれぞれ頂点に立った学芸館、山陽がリード。対抗馬は昨夏の決勝を戦った創志学園と倉敷商か。組み合わせは「4強」が分散した。直接対決までに状態を上げられるかもポイントになりそうだ。

学芸館は投手陣の厚みで優位に立つ。エース伊藤は春の公式戦防御率が1・11（投球回24回）。左腕金田、2年生右腕沖田も安定している。俊足の森下、藤原の1、2番がけん引する攻撃も得点能力が高い。過去2度の優勝はいずれもノースードからだ。春の王者として初めて臨む重任をはね返せるか。

山陽も井川、西野、三浦ら本格派右腕をそろえる投手陣に力があり、準決勝敗退だった春の県大会も1試合平均2・3失点。倉敷の坂本ら序盤から好投手との対戦が見込まれ、土井、渡辺ら右の好打者が並ぶ打線の出来が焦点だ。

東海大相模（神奈川県）で甲子園優勝4度の門馬監督を迎え、初めての夏となる創志学園。新体制では「無冠」ながら、甲子園を主力で経験した捕手竹本、遊撃上田らを中心に攻守に磨きをかけた。大型右腕の横田を軸とした継投が機能すれば初の連覇も視野に入る。

学芸館、山陽リード 追う創志、倉敷商

代替大会を含め、過去4年連続で決勝進出と夏に強さを発揮するのが倉敷商だ。1年生だった昨夏から主戦格として投げる和田、春以降の実戦で5割超の打率を残す2年生の4番山下ら有望な下級生が成長し、着実に底上げが進んでいる。

光南、理大付も頂点を狙える。光南は長身右腕の小玉、1年生左腕石井ら投手の陣容が整い、春は準優勝と結果を残した。理大付は左腕高橋、左の強打者生田と投打に粒ぞろいだ。

旧チームでセンバツに出場した倉敷工は石原、坂爪らの打撃が武器。9年ぶりにシードとして臨む作陽学園は強打の捕手富村が攻守の要で引っ張る。それぞれ初戦は、浦田ら投手陣が充実する関西、投打にまとまる就実と難敵が予想される。

戦績こそ秋春とも伴わなかったが、地力を秘めるチームは多い。岡山東商は柴田、金光学園は増田と長距離砲が軸を担う打線に破壊力がある。明誠学院や商大付、西大寺も攻撃力が自慢。注目右腕の森を擁す笠岡工をはじめ、城東、美作などは強豪ともディフェンスで渡り合える。

岡山勢は今春のセンバツ出場を逃した。現世代にとって甲子園へのラストチャンスとなる夏は、蓄えた力をぶつけ合う好ゲームを期待したい。（稲垣心也）

高校野球岡山大会 対戦カード決定

組み合わせ

学芸館	13日マ9:00	山陽	14日マ9:00	陽
和気閑谷	8日マ11:30	倉敷商	11日倉9:00	敷
興譲館	17日マ9:00	作陽学園	18日マ9:00	津
林野	9日倉9:00	大付	12日マ9:00	松
方谷学舎	13日倉9:00	岡山南	14日マ11:30	作
操山宮	9日マ9:00	興陽	12日倉9:00	山
一玉島商	20日マ9:00	西大寺	21日マ9:00	商
玉野	9日マ9:00	岡山東	12日マ9:00	陽
朝日	13日マ11:30	瀬戸	15日マ9:00	緑
笠岡商	9日マ14:00	泉	12日マ11:30	羽
東岡山工	17日倉9:00	天城	18日倉9:00	山
城東	9日倉11:30	玉野商	11日倉11:30	陽
理大付	13日マ14:00	光	14日マ14:00	園
倉敷商	9日マ11:30			
吉備高原学園	13日倉11:30			
古城池	9日マ11:30			
水島工	17日マ14:00			
津山東	10日倉9:00			
笠岡工	14日マ9:00			
邑久	10日マ9:00			
津山工	10日マ9:00			
高梁山	20日マ11:30			
明誠学院	10日倉11:30			
倉敷南	14日倉9:00			
岡山工	10日マ11:30			
関西	17日マ11:30			
倉敷工	8日マ14:00			
	13日マ11:30			

【注】太字はシード校。マはマスカット、倉は倉敷市営、工は美咲エイコンの各球場

57チーム狙え甲子園切符